

環境検討部会（第14回）議事概要

1. 日 時：令和4年10月14日（金）9：30～11：10
2. 場 所：栃木南部農業水利事業所 会議室（一部 Web 参加）
3. 出席者：別紙のとおり
4. 議事概要：本検討部会での決定事項、検討事項等は以下の通り。

1）生物調査について

（委員）

新荒川排水路のワンド部（NS-2）などでは外来種であるアメリカザリガニの捕獲数が、過年度と比較して増加している。アメリカザリガニは雑食性で、水草や魚類等も食べるため生態系への影響も大きい。アメリカザリガニの捕獲数にも注視しつつモニタリングを進めること。

（委員）

魚介類の生息数には「水草」、「底質」、「アメリカザリガニの生息」など様々な要素が影響しているが、引き続き、それらの要素の有無や変化にも着目しつつ、モニタリングを行うこと。

（委員）

令和4年5月に魚道の遡上調査を行っているが、魚道入口となる西清水川排水路は整備直後であったため、魚類の生息が少なく、適切に魚道の効果を評価できていない可能性があるので、引き続き、モニタリングを行い評価すること。

2）ナガエミクリのモニタリング結果等

（委員）

検討部会でナガエミクリの移植に適した環境を検討しつつ移植を実施したが、①一時的に移植地点の流量や流速が増した、②灌漑期には水深が深い、等の要因によりナガエミクリは生育しなかった。本地区の水路環境・構造のもとで、どの様にナガエミクリの保全や生態系に配慮した施設整備を行っていくのか次回の検討部会で検討すること。